

# 中国 5 県休眠預金等活用事業 2021

## 公 募 結 果

### ■ 概要

選考結果	採択
団体名	NPO 法人 妊娠しえると SOS
代表者名	小林智子
申請事業名 主題	危機的妊娠をした居場所のない妊婦のシェルターとなる建物の建設・運営と就労支援への準備
申請事業名 副題	
エリア／テーマ	【岡山県】拠点の整備を通じた困難を抱える子ども・若者の居場所と就労支援の仕組みづくり
解決すべき社会課題	① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援 ④ 働くことが困難な人への支援
申請事業の概要	<p>『解決する課題』</p> <p>高校生の妊娠、未婚や家族との折り合いの悪い状態での妊娠などは妊娠の継続を望んでも安心して過ごせる居場所がないことがある。また、非正規雇用で妊娠を機に退職したり就労せず妊娠した場合は、出産後に乳児を保育しながら就労するのは難しいことが多い。</p> <p>『目指すべき姿』</p> <p>妊娠の継続を望む方は安心して妊娠期を過ごし、出産に向けて準備ができる環境で過ごすことができる。出産後に就労する場合、希望する職業に就き自立した生活ができる。</p> <p>『実施する活動』</p> <p>居場所のない特定妊婦や出産後の母子に対して、一時保護を行い、緊急的な住まいを提供し、多職種によるそれぞれの専門性を活かした支援を実施する。医療機関(病院・助産院)や自治体と連携し、専門助産師による妊婦健診～育児スキルも含めた産後ケア(妊娠経過が正常で助産院での出産を希望する場合、提携助産院で継続したケアの実施)を提供する。自立に向け、家事等の日常生活上の援助や託児や住まいの確保に向けた支援を行う。就労支援として他団体と連携し多職種で支援を行う。</p>
事業実施地域	岡山県
申請事業期間	(開始月)2022 年 4 月～(完了月)2025 年 2 月
申請助成額	20,979,000 円 【内訳】直接事業費 19,070,000 円、管理的経費 930,000 円、評価関連経

## ■ 審査コメント

- ✓ アウトプット、アウトカムの設定が明確である。
- ✓ 出口戦略として、事業計画の実現可能性が見えない。実際の経営や事業計画の推進に向けた事務処理能力や会計に不安がある。フォローアップによりこの点が超えられればと思う。
- ✓ 利用者の想定について、兵庫県の事例を挙げられているが、岡山ではどのくらいニーズがあるのかわからない。全国的にはニーズが高いということは理解できた。
- ✓ 岡山県内には妊婦向けのシェルターはないということで、初めて耳にした。
- ✓ 近年外国人労働者の出産にまつわる課題もあり、至急に取り組むべき事業ではないかと思う。岡山に同様の施設は無いということで特に必要性を感じる。
- ✓ 設立したばかりの団体で実行力には不安があるが、しっかり伴走すれば良い団体になるのではないかな。
- ✓ 妊婦の課題については初めて知った。虐待に対するシェルターはこれまでもケースとして見聞きしているが、非常に興味深く事業計画全体を見させてもらった。
- ✓ 支援対象は異なれどもシェルターを運営する団体はたくさんあるので、参考にして育ってほしい。
- ✓ 期待はできるが経験年数が弱いということで全体での不安はある。構成メンバーとして各分野の専門家から協力が得られるということで実現性も可能性もあると思う。
- ✓ 出口戦略の明瞭化、またどのような経費がかかるかの想定を綿密にする必要がある。ボランティアで対応するだけでなく、必要経費を厳密に立てて資金計画を作成することも必要。
- ✓ 収入源は寄付にするのか。事業開始時より資金調達についても頭に入れて、広報や発信を開始できるよう計画する必要がある。
- ✓ 相談窓口として一本化され、必要な支援については政策提言できるような取り組みになればと思う。